

投資情報室 (審査確認番号 2021-TB326)

# 週間市場レポート (2022年1月17日~1月21日)

# 1) 先调の市場動向

| 指数名                            | 国              | 前週末       | 先週末       | 前週末比                    |
|--------------------------------|----------------|-----------|-----------|-------------------------|
|                                |                | 2022/1/14 | 2022/1/21 | (%)                     |
| 日経平均株価(円)                      |                | 28,124.28 | 27,522.26 | <b>▲</b> 2.14 <b>\</b>  |
| TOPIX(東証株価指数)                  |                | 1,977.66  | 1,927.18  | <b>▲</b> 2.55 <b>\</b>  |
| ダウ工業株30種平均(ドル)                 |                | 35,911.81 | 34,265.37 | <b>▲</b> 4.58 <b>\</b>  |
| S&P500種指数                      |                | 4,662.85  | 4,397.94  | <b>▲</b> 5.68 <b>∖</b>  |
| ナスダック総合指数                      |                | 14,893.75 | 13,768.92 | <b>▲</b> 7.55 <b>\</b>  |
| ユーロ・ストックス50指数                  |                | 4,272.19  | 4,229.56  | <b>▲</b> 1.00 <b>∖</b>  |
| S&P/ASX300指数                   | **             | 7,398.51  | 7,182.53  | ▲ 2.92 🔪                |
| 上海総合指数                         | *}:            | 3,521.26  | 3,522.57  | 0.04 🖊                  |
| MSCI AC アジア (除く日本)*            |                | 980.81    | 972.62    | <b>▲</b> 0.84 <b>\</b>  |
| 東証REIT指数                       |                | 1,994.50  | 1,881.27  | ▲ 5.68 🔪                |
| FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数 |                | 926.20    | 891.63    | <b>4</b> 3.73 🔌         |
| ASX300 REIT指数                  | NV<br>NV<br>NV | 1,657.90  | 1,608.80  | <b>▲</b> 2.96 <b>\</b>  |
| グローバルREIT (除く日本)※              |                | 219.94    | 212.88    | <b>▲</b> 3.21 <b>\</b>  |
| 日本10年国債(%)                     |                | 0.143     | 0.137     | ▲ 0.006 🔪               |
| 米国10年国債(%)                     |                | 1.784     | 1.758     | <b>▲</b> 0.026 🔪        |
| ドイツ10年国債(%)                    |                | ▲ 0.046   | ▲ 0.065   | <b>▲</b> 0.019 🔪        |
| 英国10年国債(%)                     |                | 1.150     | 1.171     | 0.021 /                 |
| ドル/円                           |                | 114.19    | 113.68    | <b>▲</b> 0.45 <b>\</b>  |
| ユーロ/円                          |                | 130.35    | 128.98    | <b>▲</b> 1.05 🔪         |
| 英ポンド/円                         |                | 156.16    | 154.07    | <b>▲</b> 1.34 🔪         |
| 豪ドル/円                          | **<br>**       | 82.35     | 81.59     | ▲ 0.93 🔪                |
| フィラデルフィア半導体指数                  |                | 3,900.61  | 3,434.79  | <b>▲</b> 11.94 <b>\</b> |
| WTI原油先物(ドル)                    |                | 83.82     | 85.14     | 1.57 🖊                  |
| CRB指数                          |                | 245.43    | 248.48    | 1.24 🖊                  |

# 2) 日本の株式・債券市場

#### ≪ 株式 ≫

日本株式市場(日経平均株価)は、前週末比で下落となりました。

前週末に28,000円近辺まで下落したことから、値ごろ感から見直し買いが 入り、週初は上昇しました。25~26日に米連邦公開市場委員会(FOMC) を控え、米連邦準備制度理事会(FRB)高官によるタカ派(金融引き締め推 進派)的な発言で米長期金利が一時1.9%まで上昇すると、金利上昇時に割高 感が意識されやすいグロース株やハイテク株など高PER(株価収益率)銘柄 を中心に売られ大幅下落しました。週末にかけては、18、19日の2日間で 900円近く下落した反動から自律反発狙いの買いが入り上昇する場面もあっ たものの、週末は前日の米国株式市場が下落した流れを受け下落しました。



日本債券市場(10年国債金利)は、前週末比で構ばいとなりました。

日銀が金融政策変更の議論を進めているとの思惑や、米長期金利の上昇を受 け上昇する場面もあったものの(価格は下落)、週末にかけて日経平均株価 が下落すると、相対的に安全資産とされる債券は買われたことから(利回り は低下)、週間ではほぼ横ばいとなりました。



### 3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場(NYダウ)は、前週末比で大幅下落となりました。

FRBによる早期の利上げ観測が高まる中、米長期金利がおよそ2年ぶりに 1.9%まで上昇するとハイテク株を中心に売られ、週を通じて下落となりま した。市場予想を上回る決算を発表した銘柄が買われ、下落幅を縮小する場 面もあったものの、週末にかけては、ウクライナ情勢をめぐる地政学リスク の高まりや、大手ハイテク企業の決算内容への失望感から、下落しました。



#### 4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。

日米株式市場が下落し、投資家がリスクを取りにくくなるとの見方が広がり、 週を通じてリスク回避目的の円買い米ドル売りが進みました。<br/>



#### 5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米長期金利の上昇懸念から、ハイテク株などを中心に 幅広い銘柄が売られ、日米両市場ともに下落しました。

国内における新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府は21円(金)に、 まん延防止等重点措置の対象地域を16都県に拡大しました。今回の措置は 洒類の提供をめぐり地域によって対応にばらつきがあることから、一部で は夜間の人出抑制の効果に疑問の声もあるようです。

今週は25~26日の日程でFOMCが開催されます。今後の金融政策をめぐ り、利上げ開始や保有資産縮小の時期に加え、足元では3月にも大幅利上げ に踏み切る可能性もあるとの観測が広がっており、FOMC後のパウエル FRB議長の発言が注目されます。週前半の株式市場は、FOMCを控え、様 子見ムードから動きにくい展開が予想されます。FOMCにサプライズがな く無難に通過すれば、買い安心感が広がり大幅上昇する可能性もありそう です。

#### 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものでは ありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

#### <設定・運用>



# ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY ASSET MANAGEME

商 号 等:ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長(金商)第369号

加入協会:一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9:00~17:00 (土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ https://www.nam.co.jp/